



創価大学

Discover your potential  
自分力の発見

平成31年度 募集要項

# グローバル・シティズンシップ・プログラム GLOBAL CITIZENSHIP PROGRAM



6学部生を対象とした特別プログラム

## “世界につながる力がつきました”

- ◆プログラム受講料無料
- ◆海外研修奨学金給付

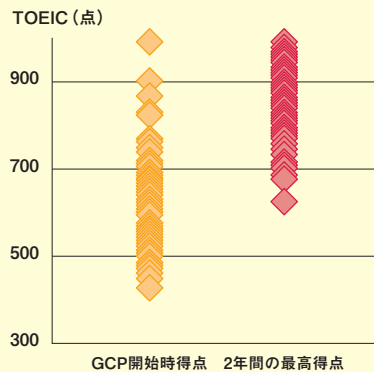


# GCPで磨く

## 語学力

2年間で英語力が  
飛躍的にUP!

2年間でTOEIC平均点が  
約250点上昇



1期生から7期生(201名)の  
9割の学生が2年間で  
TOEFL550点、TOEIC800点  
以上達成、3割の学生が  
TOEIC900点以上を取得。

卒業時には、  
TOEIC平均点が  
900点を超える!

廣瀬 文人

法学部法律学科4年  
東京都 私立・創価高等学校



TOEIC975点  
TOEFL ITP603点

中学・高校で、水泳の次に嫌いな教科は英語でした。このままでは良くないとの思いからGCPに志願したものの、英語の音読でさえうんざりしていた私にとって、GCPは易しいものではありませんでした。しかし、勇気を振り絞って発言を重ねていくうちに少しずつ

英語が楽しいものになっていきました。

このように挑戦できたのは尊敬できるGCPの仲間がいたからです。エネルギーで英語力のある友人たちがいたからこそ、追いつこうと努力することができました。スキマ時間を見つけてはイヤホンを付けてリスニングをしていたのは良い思い出です。GCPの友人と、寝る前にスピーキング練習をしたこともありました。

そしてGCPの課題が多く大変だけれども刺激的なプログラムに挑戦する中、1年半が経った頃には、入学当時よりもTOEICがちょうど300点伸びる結果となりました。また、香港大学に留学する機会にも恵まれました。なにより嬉しかったのは、留学先などで率直な話ができただけです。異なる文化を背景に、互いの関心について熱く語るのには心躍る体験でした。今後は、GCPで培った根性とスキルを生かして、人の心に寄り添える弁護士を目指します。

生駒 比奈子

法学部法律学科4年  
広島県 県立・広島高等学校



TOEIC950点  
TOEFL ITP613点

私が英語を自由に使えるようになったのはGCPのおかげです。GCPでは先生や先輩方の手厚いサポートのもと、英語を読む、書く、聞く、話す力全てを磨くことができます。私はもともと英語が好きでしたが英語を聞き取る・話すことは苦手でした。しかし、

学生ながら世界を舞台に活躍しているGCPの先輩方のようになりたい!との思いで恥ずかしさを捨てよう!と決意、授業中は間違えてもいいからとにかく発言・質問をするように心がけました。また、英語が伸び悩んだ時期は先輩からアドバイスをを受けたり、同期の友人とスピーキングの特訓をしたりしてやる気を保ちました。

その結果、英語力が伸びただけでなく、国際学生会議やノーベル平和賞受賞者世界サミットなどに出席する機会を持って、参加者らと英語で議論することもできました。現在ケニアで国際関係・開発学などを学んでいますが、英語に困ることはあまりなく、様々な国籍の学生とも友人関係を結ぶことができている。そして、将来は英語を活かして途上国の保健・衛生改善に役立つ人材になりたいと考えています。GCPに入り、語学力とともに世界に羽ばたく勇気を一緒に握りましょう!



# プログラムゼミ **世界にはばたく力を養う!**

1年前期  
プログラムゼミⅠ

## キャリア&リーダーシップ

**リーダーシップ力、ビジョンの形成力を磨く**

チュートリアルと併せて自身の最適なキャリア形成と進路を計画



1年後期  
プログラムゼミⅡ

## ベーシック・リサーチ

**リサーチ力、プレゼンテーション力を磨く**

1年次2月に行う海外研修のなかでフィールド調査を実施



2年前期  
プログラムゼミⅢ

## ポリシー・スタディーズ

**問題発見力、「チームで働く力」を磨く**

専門的な視点から問題を構造的・総合的に把握し、分析

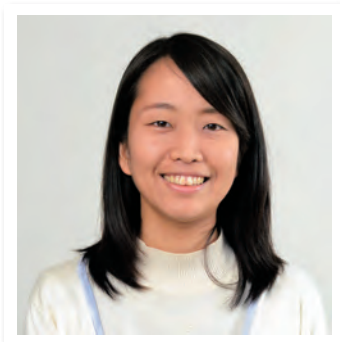


2年後期  
プログラムゼミⅣ

## グローバル・イシューズ

**問題解決力・提案力を磨く**

2年次12月に公開成果報告会を開催し、社会に対して提案



**小野里 由香**

教育学部教育学科卒業  
大阪府 私立・関西創価高等学校

ジョージア州立大学留学 TOEIC930点 大阪府庁就職

### グローバル問題に挑み解決策を提案、現地でプロジェクトを実施!

プログラムゼミでは、現状分析から課題設定、解決策の提案という一連のプロジェクトにグループ単位で取り組み、アカデミックスキルを培います。2年次後期には、それまでの学びを活かし、各グループが地球の問題に対する解決策を提案します。また数年前より、その提案を実行に移す取り組みにも力を入れています。私たちは、「パレスチナ刺繍プロジェクト」と「ザンビア栄養啓発プロジェクト」を立ち上げました。私は後者の中心メンバーとして、ザンビアを支援する財団と共に、栄養に関する授業全5回分の教材作成と、現地の学校における栄養教育の体制づくりに取り組みました。

グループワークをするなかで周りとの実力差に私が落胆していた時、他方で、各人の強みを活かしたグループワークの実現に励むメンバーがいました。能力の有無に囚われていたことに気付き、「自分の持てる力と視点で」グループに貢献する術を模索するようになりました。入学当初は、自分に自信がなく、進路選択の幅を狭めてしまっていたのですが、現地と繋がり、問題に働きかけることができた経験が、目の前に広がる自身の「可能性」に気付かせてくれました。

# 創大の人間教育を「世界」に発信!

## 留学

交換留学・国際奨学金で  
140名の留学が決定!

1期生から6期生までの140名の留学実績に加え、あらたに7期生20名(26名中)が、13か国・地域への交換留学生・国際奨学生に選ばれました。

### アメリカ・メアリー・ボールドウィン大学 フランス・ノバンシア

TOEIC945点



#### 立野 未奈子

法学部法律学科4年  
東京都  
私立・創価高等学校

GCPで身につけた英語力と挑戦力は留学生活に大いに役立ちました。留学先では国際政治学などを履修しましたが、クラスメイトは皆ネイティブスピーカーなうえ、どの授業でも非常に高いレベルの学習が求められました。その中でもGCPでの学びを活かして粘り強く勉強したところ、留学生でただひとり年間を通じて特待生に選ばれ続けることができました。また学外でも、高い英語力を活かして、上院議員や外交官等の専門家を招いて日米関係を学ぶ国際学生会議や、奨学金を得てヨーロッパの国連機関を訪問する短期留学など、様々なことに挑戦できました。これからも自身の専門である国際法を磨きながら、将来は国連外交を通じて世界平和に貢献していきます。

PwCコンサルティング合同会社就職



#### 渡辺 遥香

経営学部経営学科卒業  
大阪府  
私立・関西創価高等学校

留学中、数多く行われたグループディスカッションの場にてGCPでの学びが活かしたと感じます。フランスへ交換留学中、多国籍な学生たちと行ったグループプロジェクトでは、価値観や考え方の違いから当初は意見のぶつかり合いが絶えませんでした。しかし、GCPで6学部の学生たちでチームプロジェクトを成し遂げた経験を活かして議論の合意形成やチームワークづくりなどを行い、チームのまとめ役として貢献することができました。

GCPで経験する志の高い他学部生との活発な議論やグループワークは、実際のグローバルな環境に繋がっていると実感しました。他の大学プログラムでは得られないこのような多角的な学びは、GCPの最大の魅力の一つだと感じます。

### 世界に広がるGCP生の留学先

#### ◆北南米

**アメリカ**: デラウェア大学、ジョージ・メイソン大学、マサチューセッツ州立大学、ジョージア州立大学、ケネソー州立大学、メアリー・ボールドウィン大学、アメリカ創価大学、**カナダ**: プリンス・エドワード・アイランド大学、カルガリー大学、**ブラジル**: パラナ連邦大学

#### ◆ヨーロッパ

**フランス**: ノバンシア大学、**オーストリア**: クラーゲンフルト大学、**イギリス**: ウェストミンスター大学、クイーンズ大学ベルファスト、バーミンガム大学、**ブルガリア**: ソフィア大学、**ロシア**: ウラジオストク極東連邦大学、**デンマーク**: デンマーク南大学

#### ◆アジア・オセアニア

**中国**: 北京大学、清華大学、厦門大学、上海大学、武漢大学、**台湾**: 国立政治大学、中国文化大学、**香港**: 香港大学、香港中文大学、**韓国**: 慶熙大学、成均館大学、**フィリピン**: フィリピン大学、デ・ラ・サール大学、アテネオ大学、イースト大学、**タイ**: タマサート大学、チェラロンコン大学、**インドネシア**: インドネシア大学、**シンガポール**: 南洋理工大學、**マカオ**: マカオ大学、**マレーシア**: マラヤ大学、**インド**: デリー大学、インド池田女子大学、**ネパール**: トリブバン大学、**ベトナム**: ハノイ国家大学、**オーストラリア**: シドニー大学、ラ・トローブ大学、グリフィス大学、**ブルネイ**: ブルネイ・ダルサラーム大学

#### ◆アフリカ

**ケニア**: ナイロビ大学、アメリカ国際大学、**南アフリカ**: ウィットウォーターズランド大学

# 国際会議

## 日本代表として国際会議に出席し、世界に発信!

GCPで培った英語コミュニケーション力、課題設定、問題解決力を活かし、これまでにノーベル平和賞受賞者世界サミット、日米世界学生会議など数多くの国際会議に学生日本代表として参加しています。

### ■「世界大学総長協会総会」に参加し、セッションで代表報告

2017年7月にウィーンで開催された「世界大学総長協会総会」に、関根幸恵さん(法学部卒業)、尾張智華子さん(同学部4年)、青木広平さん(経済学部卒業)、古賀広之さん(教育学部卒業)、越智理佐子さん(同学部卒業)の5名が参加しました。総会期間中には学生のためのセッションも開催され、ハーバード大学やウィーン大学の教授らによる講演とディスカッションが行われました。最終日に開催された総長、学長らへのプレゼンテーションでは、「異文化の対話」セッションを代表して、関根さんがセッションを総括し発表を行いました。



「世界大学総長協会総会」の参加者  
(左から古賀さん、関根さん、尾張さん、  
越智さん、青木さん)

### ■ 国連「持続可能な開発のための ハイレベル政治フォーラム」に参加

2017年7月10日から19日まで国連本部(ニューヨーク)で開催された「持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム」に、塩田貴子さん(法学部4年)が日本代表として参加しました。「持続可能な開発目標(SDGs)」は、地球上から貧困をなくし、持続可能な世界を実現するための取り組みとして国連が採択しました。2017年のフォーラムは、「変化する世界における貧困の根絶と豊かさの推進」をテーマに開かれ、各国政府による取り組みの発表などがありました。塩田さんは、フォーラムの公式会議で世界の子ども・若者を代表して世界へ向けたメッセージを発信しました。



「持続可能な開発のための  
ハイレベル政治フォーラム」に参加する塩田さん

### ■ 世界トップレベルの理系学生が集う 「STeLA Leadership Forum 2017」に参加

2017年8月6日から13日間にわたりオランダのライデン大学で開催された「STeLA Leadership Forum 2017」に吉見広幸さん(理工学部4年)、高井光一さん(同学部3年)、松本大樹さん(同学部3年)が参加しました。STeLA (Science and Technology Leadership Association)フォーラムには、マサチューセッツ工科大学、ハーバード大学、スタンフォード大学など科学・工学分野の世界トップレベルの大学から約40名の学生が参加し、リーダーシップの理論と実践、サイエンスの知識と技術について学び、プロジェクトの立案と提案を行います。2014年より毎年GCP生がフォーラムに参加しています。



「STeLA Leadership Forum 2017」のグループ  
ワークに参加する吉見さん(中央)

### ■ GCP生が参加した主な国際会議・日本代表団

ノーベル平和賞受賞者世界サミット、G8世界サミット、Girls20サミット、世界大学総長協会総会、国際開発ユースフォーラム、国連防災世界会議Children & Youth Forum、日米世界学生会議、日露学生フォーラム、COP学生会議、日本・中国青年親善交流事業、日中韓ユースフォーラム、日中学生会議、アジア開発銀行年次総会アジアユースフォーラム、日本アフリカ学生サミット、ハーバードアジア国際関係プロジェクト、内閣府国際青年育成交流海外青年派遣、内閣府グローバルユースリーダー育成事業、他



# キャリアに強いGCP

## 進路 語学力×専門性

2018年3月までにGCP5期生までの130名が卒業しました。進路先はプログラムゼミやチュートリアルを通して磨いたキャリア形成力と高い語学能力、専門性を活かし、国内外の大学院、公務員（国家・地方公務員）、企業等と各人の最適な進路選択をしています。

### 大学院 国内外の名門大学院に進学

これまでに、国外では、ジョンズ・ホプキンス大学、オックスフォード大学、シドニー大学等、国内では、東京大学、京都大学、大阪大学、広島大学、創価大学の大学院へ進学しています。



#### 国連平和大学・アテネオ大学大学院 国際平和学デュアル・ディグリープログラム

道野 琉璃 経済学部経済学科卒業 東京都 国立・東京学芸大学附属国際中等教育学校

紛争で命を落とす人を1人でも減らせるよう平和学を学ぶ大学院への進学を決意しました。本プログラムではコスタリカの国連平和大学とフィリピンのアテネオ大学の両方の修士号を取得できます。GCPで習得した語学力、論理的思考力、課題をやり抜く力のおかげで、歴代最年少で合格を勝ち取ることができました。現地の人々に寄り添える平和構築活動を実践することを目指し、これからもGCPで学んだ全てを活用し、挑戦をし続けていく決意です。



#### 東京大学 大学院新領域創成科学研究科

塩原 香織 法学部法律学科卒業 東京都 私立・創価高等学校

GCPのフィリピン研修でのフィールドリサーチ経験より、大学院に進学し、専門性を持ってリサーチを実践したいと決意し、リサーチで扱ったトピックに触発を受け、東南アジアでの環境と開発をテーマにできる国際協力学専攻を志望致しました。専攻は学際的で、各分野の考え方や知見をどのように現実の課題解決に活かすかを追求する場にもなっています。ここでは、各学部から集ったGCPのメンバーとプログラムゼミで国内外の具体的な社会課題と格闘したことが、貴重な経験になっていると感じています。



#### 北海道大学 大学院生命科学院

杉岡 凜太郎 工学部生命情報工学科卒業 北海道 私立・札幌第一高等学校

中学生の時に患った言語障害や、フィリピン研修で言葉に不自由な人々と交流した経験から、言語学習の分子神経学的な仕組みを追究したいと思い大学院進学を選びました。GCPの2年間で培ったタイムマネジメントの力と忍耐、また英語論文を基に情報整理し筋道を立てて発信する力は、限られた時間内で高度に研究を遂行するのに役立ちました。卒業後はこれらの土台を糧に、言語学習に悩む人達の希望となるような成果を出していきたいです。

## 公務員 毎年難関の外務省、政令指定都市試験に合格

これまでに外交官(5名)大阪府庁職員(1名)富山県庁職員(1名)横浜市職員(5名)世田谷区職員(1名)を輩出しました。



### 外務省専門職員

米田 賢司 経済学部経済学科卒業 大阪府 私立・関西創価高等学校

あらゆる交流の基盤となる国家間外交に携わりたいと考え、外務省専門職員を志望しました。GCPで地球規模課題について学び、自分事として主体的に行動する経験を通して、国際社会が抱える課題解決に貢献していきたいとの思いが強くなりました。進路決定を含め、大学生活の中で英国長期留学や中国・米国でのインターンシップなどの実践的な挑戦を実現できたのは、GCPでの濃密な学びと人間練磨があったからこそだと強く感じています。



### 横浜市役所

森 裕之 法学部法律学科卒業 福岡県 県立・東筑高等学校

介護が必要な高齢者や教育環境に恵まれない子どもなど、未来を描けないでいる人を制度面から支えたいと思い、地方公務員を志望しました。GCPの二年間は挫折の連続で、同期と自分を比べ、自信を失っていました。その挫折をバネに変え、等身大の自分で就職活動ができたのは、先生方や同期の強い励ましがあったからこそです。自分にもできることがあると信じられる今、GCPで培った忍耐力で、粘り強く仕事に取り組む決意です。

## 企業就職 次々と難関のグローバル企業から内定を獲得

(主な就職先) ゴールドマン・サックス証券、PwCコンサルティング合同会社、Accenture、日本IBM、三菱UFJ銀行、日産自動車、パナソニック、あずさ監査法人 など



### 株式会社日立製作所

池田 桜 法学部法律学科卒業 宮崎県 県立・五ヶ瀬中等教育学校

GCPのフィリピン研修や1年間の香港留学を通して、人の生活を支えるインフラ業界に関心を抱きました。その中でも人が生きていくために必要不可欠な水や電気を提供する総合電機業界で、世界中の人々が等しく最低限度の生活を送れるようにしたいと強く思うようになりました。GCPで培った基礎的な語学力や思考力、困難に直面しても負けない力は企業にも評価して頂きました。今後もGCPでの学びを生かし挑戦を重ねていきたいと思えます。



### 三井物産株式会社

古賀 広之 教育学部教育学科卒業 大阪府 私立・関西創価高等学校

子どもたちが夢を叶えられる人生を送る基盤となるライフラインを整えたいと思い、総合商社を志望しました。入学時は教師志望でしたが、国際視野に立ち、学びを深めたいと思い所属したGCPで、教育のみならず、多彩な学問を英語で勉強することで人生の可能性は広がりました。特に1年次のフィリピン研修は、私の将来の夢が教師から途上国へのインフラ貢献に変わる転機となりました。GCPで得た語学力を生かし挑戦した米国留学が現在の進路に繋がりました。今後も「何のため」を忘れず、GCPで得た難題に立ち向かう精神力で挑戦し続ける決意です。

## GCPの 5大特徴

GCPは、いくつかの単位振替はあるものの、将来国際社会等での活躍を目指す学生に、既存の教育課程とはまったく異なる科目を提供するものです。それは以下の5つの特徴を有しています。

### 1 それぞれの学部にも所属したまま参加できる学部横断型プログラム

GCPは創価大学の一部の学部にも所属する学生のみが対象ではなく、経済・経営・法・文・教育・理工学部の6学部を対象に学生を選抜します。定員は約30名と、決して多くはありませんが、入学したそれぞれの学部にも所属したままの参加と

なります。従って、本学の一組織や一部の教員だけがGCPに関わるのではなく、創価大学全体で皆さんをサポートします。また、それぞれの学部の学生が集まることで、多様性が育まれることを期待しています。

### 2 徹底した英語教育で世界に通用する英語力を養成、海外研修には奨学金給付(返還不要)により全員が参加

GCPでは独自の集中英語講座で海外大学院留学レベルの英語力と国内外一流企業や国際機関に就職する際に求められる高度な英語コミュニケーション能力の修得を目指します。入学後、最初の2年間で集中的に週4回(2科目×週2回)の授業を履修し、徹底的に英語脳を鍛え、英語圏の大学院進学時に求められるレベルの読解力・ライティング能力・論理的思考力・ディスカッションやプレゼンテーションの技能

などを総合的に磨きます。

さらに、GCP受講者全員に、海外研修費用として返還不要の奨学金が給付され、全員が海外短期研修に参加します。GCPの海外研修では、開発途上国を訪問し、政治・経済・環境・教育など、開発途上国がかかえる様々な問題についての講義を英語で受け、貧困地域の学校・施設を訪問し、開発・環境・教育問題の現状について理解を深めていきます。

### 3 社会システムを読み解く力ー 数理能力をトレーニング

国際社会や一流企業で活躍するためには、日々蓄積される膨大かつ多種多様なデータを効率的に活用し、集計や検索、高度な分析などを、スピーディーに処理できる能力が不可欠です。「社会システム・ソリューションI」では、社会の現状を把握し、意思決定を行うために必要なデータ分析能力

を修得します。また、「社会システム・ソリューションII」では、日々激しく変化する社会システム、経営システム、情報システムなどに立ち向かうため、種々の問題発見とその解決方法に関する数理学的基礎知識を身につけます。

### 4 独自ゼミでグローバルに活躍する人材を育成

ゼミごとにそれぞれ独自のゼミが設けられ、2年間で4つのゼミを学びます(→詳細は3ページ)。

### 5 少人数制によるきめ細かい指導と「建学の精神」の深化

学生一人ひとりの学問分野や進路に合わせて、きめ細かく個別指導を行います。まず入学してから2年次が終わるまでは、「進路を模索し、歩む道を見つける2年間」です。教員1人あたり5~10名の少人数体制を組んで、週に一度の集まり(チュートリアル)や個別相談・指導等を通して、学生生活を全力でサポートしていきます。そしてこの2年間で身につけたス

キルを携えて、いよいよ3年次以降は、学生一人ひとりが具体的な進路を勝ち取り、社会に貢献する創大生に成長する時、すなわち「進路を決定して、夢を実現する2年間」を迎えます。ここでは、就職や公務員試験、あるいは海外大学院への進学等、多様な進路に最も適切な経験を有した教員のもと、進路を勝ち取る準備を重ねていくことになります。

#### 8期生からのメッセージ

#### 経済学部経済学科2年

布川 裕一 | 群馬県 県立・高崎高等学校



私は、英語を単に勉強したいとの思いでGCPに志願しました。そのため最初は、多くの課題や、周囲の英語ができる同期のGCP生との差に、打ちのめされそうになる日々でした。しかし、先生方・先輩方の温かい激励、そして同期の一生懸命に勉強に打ち込む姿に支えられ、学力・精神力共に大きく成長することが出来たと感じてい

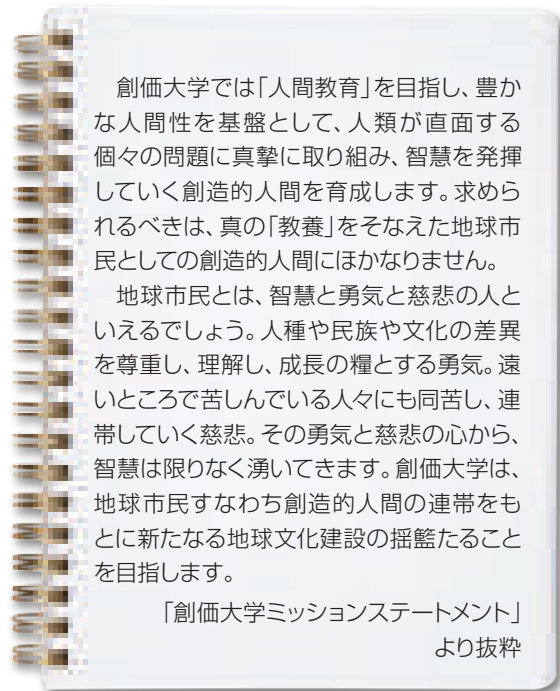
ます。GCPはただ勉強ができる人の集まりではなく、共に協力し、共に切磋琢磨し、共に学びあうことで、学力とともに人間性を養っていき、「Global Citizen」へと成長していくためのプログラムです。つらいことも多いと思いますが、共に頑張っていきましょう。



## 「創造的人間」と ミッションステートメント

21世紀に入り、これまでの価値観や既存の枠組みが世界的規模で加速度的に変化を遂げています。こうした時代にあつて、創価大学はどういう人材を輩出すればいいのか。大学での教育がこれまでのように特定の専門知識の伝授にとどまってはなりません。私たちは日々思索を続ける中でひとつの結論を得ました。それは、今求められるのは、刻々と変化する厳しい現実挑戦し、知識を生かしながら、問題を解決するために自在に智慧を發揮していく人間です。そうした人間を「創造的人間」と考えます。

「創造的人間」とは第3回入学式(1973年)で、創立者池田大作先生が創大生が目指すべき姿として示された指針です。建学の精神を具体的に表現した「創価大学ミッションステートメント」では、本学が輩出するその人材像を右記のように表明しました。



## 3つの「S」と「地球市民」

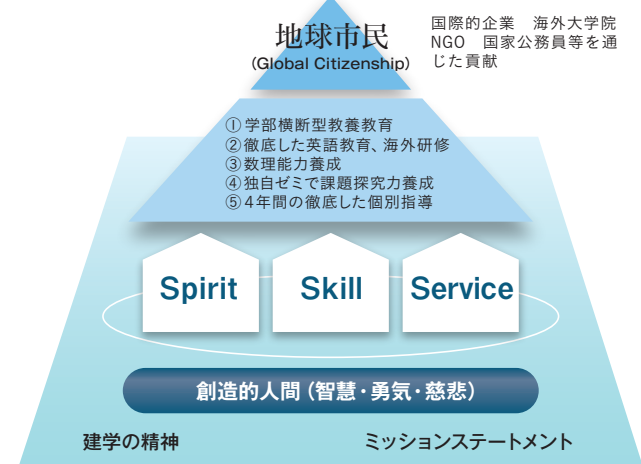
創価大学ミッションステートメントで謳われている、智慧、勇気、慈悲の3つの要件を有した地球市民(Global Citizenship)とは、言い換えれば、スピリット(Spirit／精神性)・スキル(Skill／技術・方法)・サービス(Service／奉仕・貢献)の3つ(3S)を高いレベルで有している人材であると、私たちは考えています。

スピリット(Spirit／精神性)とは、世界を志向し、世界の平和と人々の幸福を願う心です。そのためには様々なスキル(Skill／技術・方法)を身につけることが必要不可欠になります。そしてサービス(Service／奉仕・貢献)です。決して自己の利益にとどまることなく、獲得したスキルを智慧に変え、世界平和のため、人々の幸福のために貢献する勇気と行動、リーダーシップがあつてこそ、スピリットもスキルも現実社会の中で大きく生きてくるのです。

GCPは、これらの要件を満たした地球市民の輩出を目指しています。そのために本プログラムでは、後述する5つの取り組みを通して皆さんの成長をサポートします。

将来、国際社会(国際的企業、国際協力機関など)を舞台に活躍したい、海外大学院に進学したい、国家公務員や国内企業を目指したい—そうした強い志をもつ学生を全力で応援するのがこのプログラムです。

### グローバル・シティズンシップ・プログラム Global Citizenship Program



### 8期生からのメッセージ

#### 法学部法律学科2年

増沢 俊一 | 東京都 私立・創価高等学校



GCPでは、本格的な英語の授業に加え、論理的思考力や数理的能力、リーダーシップやプレゼンテーション能力を鍛える授業もあり、総合的に力をつけることができます。また、数々のグループワークやディスカッションを通して、視野が広がり、多角的に物事を見ることができるようになります。私自身、GCPでの1年間の学びを通し

て、人間的な面でも、学力的な面でも成長することができ、自身の限界を超えることができた実感しています。また、毎日のGCP生活を通して、共に切磋琢磨し合える、励まし合える一生涯の友情も築くことができました。最高の教育環境であるGCPで共に学べる日を楽しみにしています。

## 1 GCPで開講される科目

GCPでは、右表の授業を開講しています。これらの授業は、放課後(5・6時限目※)を中心に開講しており、通常の授業と並行して本プログラムの科目を履修していきます。GCPを修了するためには、プログラム修了に必要な単位を全て修得する必要があります。

プログラム修了に必要な単位数には含まれていませんが、GCPではこれらの科目のほかに、長期休業期間を利用しての海外短期研修などのプログラムを開講しています。なお、今後の社会システム・ソリューションの履修形態については変更の可能性があります。

※5時限目 16:35~18:05、6時限目 18:20~19:50

Global Citizenship Program の履修科目 (2年間)

| 科目名            | 各 Semester で修得すべき単位数 | 開講期          | 履修合計単位 |
|----------------|----------------------|--------------|--------|
| チュートリアル        | 1単位                  | 1~2年         | 4単位    |
| プログラムゼミ        | 2単位                  | 1~2年         | 8単位    |
| 社会システム・ソリューション | 2単位                  | 1年後期<br>2年前期 | 4単位    |
| GCP英語          | 4単位<br>(2単位×2科目)     | 1~2年         | 16単位   |
| 2年間の履修単位数の合計   |                      |              | 32単位   |

## 2 入学から卒業までの流れ

GCPは、6学部(経済・経営・法・文・教育・理工)に所属する学生を対象としています。したがって、GCPを受講する場合は、所属する学部が定める卒業に必要な単位を修得しながら、並行して本プログラムの科目を履修することになります。プログラム修了に必要な単位を全て修得すると、卒業時に、所属学部の学士号のほか、プログラム修了認定証が授与されます。

※所属学部の定める卒業要件は、学部により修得すべき科目や単位数が異なります。

※所属学部の定める卒業要件は、単位のほか、通算GPA(各科目の評定平均)が2.0以上であることが必要です。

※GCP科目は、共通科目の授業として開講されます。したがって、GCPで修得した単位は、各学部で定める卒業要件の「言語科目(英語)」、「共通科目」、または「自由選択科目」の単位として含まれます。

※一部のGCP科目については、GCP以外の所定の科目を修得することにより、GCPの修了に必要な単位として振替を行うことができます。



## 3 履修上の注意事項等

### 【教育職員免許状等の取得について】

GCPは、各学部にも所属しながら参加するプログラムです。したがって、それぞれの学部を卒業することで与えられる資格(教育職員免許状等)を得るためには、各学部所定の科目を履修する必要があります。よって、卒業に必要な単位と並行して修得していくため、場合によっては、教育職員免許状取得に必要な単位修得に、5年以上かかることがあります。

### 8期生からのメッセージ

### 経営学部経営学科2年

### 先崎 正人 | 東京都 私立・創価高等学校



私にとってGCPの最大の魅力は、誠実で志の高い友人たちと切磋琢磨していくことです。世界でリーダーシップを取れる人材になるために日々努力を惜しまない仲間たちを見ることで、自分も鼓舞されるからです。もちろん先輩方の活躍からも分かる通り、GCPでは各学部や英語の教授陣、また先輩方の全力のサポートのもと、

英語力をはじめ論理的思考力、リーダーシップなどを高めることができます。大学生活を通して勉学に励み、世界で通用する実力を付けたいと思う学生にとってGCPは最適なプログラムです。自分の可能性を信じ、険しくも楽しい挑戦の日々を共に過ごしていきましょう!



GCPでは、1年次終了時に給付型奨学金による海外短期研修を実施します。8期生は、平成30年2月12日より25日までの2週間、フィリピンのデ・ラ・サール大学、イースト大学等で研修を行いました。

### 生きた英語を学び、即戦力の英語コミュニケーション力を鍛える

海外研修は、実践的な英語コミュニケーション力を磨く絶好の機会です。今回の研修では、GCP生はデ・ラ・サール大学をはじめ、イースト大学、アジア開発銀行などにおいて、フィリピンの諸事情やグローバル化、開発途上国の問題に関する講義を英語で受講し、講義終了後には、専門的な分野に関する活発な質疑が繰り広げられました。また、デ・ラ・サール大学では、リサーチの最終日にGCP生がリサーチ結果を英語で発表しました。GCP1年間を通して身につけた英語力をさらに磨き、コミュニケーション力が一段と向上する研修となりました。



### フィールド・リサーチを通し、アカデミック・スキルを高める

フィールド・リサーチは、1年次後期のプログラムゼミと連動し、アカデミック・スキルの向上を目指します。プログラムゼミでは、フィリピンの経済、文化・社会、医療・健康、環境・自然、教育などの分野に関する課題テーマを設定し、事前に資料収集と分析を行いました。今回の研修は、日本での事前調査に基づき、専門分野の教員による講義を受講し、現実的視点に立脚した分析を行いました。調査に先立ち、調査手法とデータ分析、プレゼンテーションに関する講義を受け、各リサーチグループには、教員がメンターとしてサポートし、より一段と専門的かつ高度なリサーチスキルを修得することができました。



### 文化の多様性を学び、国際的な教養を修得する

異なる文化を理解し、尊重することは、地球市民にとって不可欠の資質の一つです。グローバル化が進む近年、様々な分野において国や地域間の交流が求められ、異文化と触れ合う機会が増えています。7,100もの島々から成り立ち、100を超える言語が話されるフィリピンは、多様性にあふれた国です。GCP生は、デ・ラ・サール大学、イースト大学の学生との交流や文化施設の視察とおし、フィリピンの文化とその文化を形成した歴史を学びました。異なる民族、宗教、文化、伝統と触れ合い、国や地域の持つ多様性を知り、その多様性を尊重する重要性を学び、地球市民に求められる素養を磨きました。



#### 研修参加者の声

家田 智美 法学部法律学科2年 愛知県 私立・中部大学春日丘高等学校



本研修の参加を通して、自分の目指す世界市民像がより明確になりました。研修中は、日頃のGCPでの学びで培ってきた英語力やリサーチ力、また論理的思考力を発揮し、自信をつけることができました。同時に、一人の無力さ、自分の実力不足を痛感しました。8期生の仲間と多くの困難に立ち向かっていく中、多種多様な意見を持つ仲間と共にグループダイナミクスを経験することで、一人の時よりもさらに大きな力が出せることを実感しました。今後のGCPの学びでは、研修で学んだことを活かし、それぞれが実力をつけ、創価大学GCP8期生として、強い連帯を持った世界市民に成長していきます。

#### 8期生からのメッセージ

文学部人間学科2年 野口 良美 | 大阪府 私立・関西創価高等学校



私の夢は日本の自殺を撲滅することです。教職課程とGCPの両立は大変ではありますが、その分自分の進路について視野を広げることができました。1年次の春休みに参加したGCPのフィリピン研修では少年犯罪について調べ、非行の原因の一つに家庭の機能不全があり、家庭が子どもの健全な成長の基盤であることは万

国共通であることが分かりました。この研修を通して、文学部のメジャーの一つである社会学や、教職課程の中で関心を得ていた心理学で「家族」について探求し、将来につなげたいと思うようになりました。GCPの学びは大成長の未来につながります。希望を持ち共に頑張りましょう。

## セレクションポリシー（求める人材像）

今日の社会は、高度知識社会であり、グローバル化が急速に進展している社会です。こうした時代に生き、GCPで学ぼうとする学生の皆さんは、文系学部・理系学部であることを問わず、あらゆる知識を吸収しようとする意欲を持ち、論理的思考力や問題発見・解決能力、さらにはリーダーシップやコミュニケーション能力を身につけることが求められます。具体的にはGCPでは学生に次のことを期待します。

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>1</b> 学問を深く学ぶために必要な基礎学力を身につけている、もしくはそれを身につける努力をいとわず、文系・理系を問わず、あらゆることを学ぼうとする学問探究への強い意欲があること。</p>  | <p><b>4</b> 海外留学や国際社会で通用するレベルの語学力（英語）を身につけることに強い意欲があること。</p>   |
| <p><b>2</b> 与えられたカリキュラムの中だけで学ぶのではなく、そこから自らの関心の幅を広げ、自ら課題・問題を発見し、それを解決するための力を身につけようとする強い自主性を有していること。</p> | <p><b>5</b> 現代の国内外の諸問題や、歴史・文化等に強い関心を持っていること。</p>   |
| <p><b>3</b> 将来、国際的企業、国際協力機関、海外大学院、国家公務員や国内企業への就職などを進路として考えていること。</p>                                   | <p><b>6</b> これまでの諸活動などを通して、リーダーシップを発揮した経験や人々に貢献したという経験を持っていること。そしてこれからもリーダーシップの発揮や人々への貢献を志向していること。</p> |

GCPに応募する学生に求められているのは、学生時代に徹底して学ぼうという強い意欲と好奇心、思考力や応用能力、そして地球市民(Global Citizenship)の一員として、世界平和のため、人々の幸福のために貢献しようとする大きな志です。

## 出願資格・募集人員

### ■出願資格

平成31年度入学試験(PASCAL入試・公募推薦入試・指定校推薦入試・創価学園推薦入試・センター試験利用入試[前期3科目方式、4科目方式]・全学統一入試[2科目方式、3科目方式]・一般入試)の合格者でGCPの受講を希望する者。

※看護学部と国際教養学部は、出願の対象ではありません。

※GCPは、1年次から4年次までのトータルプログラムです。したがって途中年次からの受講はできません。

※選抜費用や入学後の受講費用はかかりません。ただし、GCP英語の一環としてTOEFL等の外部試験を受験する場合があります(自己負担/1回3,000円~4,500円)。

※出願資格についてご不明な点がある場合は、

事前にGCP事務室(TEL 042-691-7009 FAX 042-691-6941 / e-mail:sgcp@soka.ac.jp)にお問い合わせください。

### ■募集人員

約30名(ただし合格者が募集人員に満たない場合でも追加募集は行いません)

### 8期生からのメッセージ

### 教育学部教育学科2年

大城 朝周 | 大阪府 私立・関西創価高等学校



GCPでは英語力をはじめ、論理的思考力やリサーチ力、またプレゼンテーション力やチームワーク力など、「国際社会で活躍したい」「世界平和に貢献したい」という漠然とした夢をより具体的に実現するためのスキルを磨くことができます。英語の授業では、英語試験に限らず実践的な英語運用能力を身につけることを目標にしてお

り、他にはない学びを得ることができず、そしてレベルの高い教授陣や先輩方、同期の仲間から刺激を受ける中で自らの視野を大きく広げ、1年前の自分より大きく成長できたと実感しています。GCPで皆さんとともに切磋琢磨できる日を心待ちにしています。



## 選抜方法

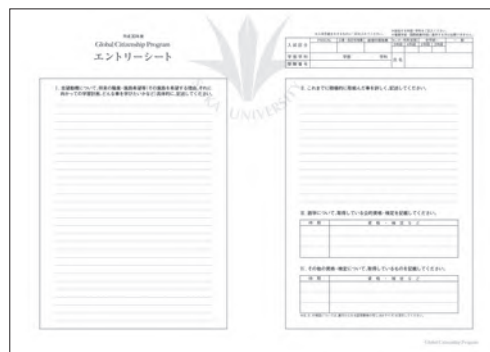
GCPの選抜は、以下の2段階で行います。

## (1) 第1次選抜

- ア. 本学合格通知関係書類の中にある[GCPエントリーシート](\*下記エントリーシート縮小版を参照)と入学試験時の得点による総合評価で選抜を行います。エントリーシート提出期限はPASCAL入試:平成30年12月14日(金)・公募推薦入試・指定校推薦入試:平成30年12月14日(金)・創価学園推薦入試:平成31年2月8日(金)・センター試験利用入試(前期3科目方式、4科目方式)、全学統一入試(2科目方式、3科目方式)、および一般入試:平成31年3月1日(金)、いずれも当日消印有効です。
- イ. 第1次選抜の合格者は、約70名とします。
- ウ. 第1次選抜の結果については、平成31年3月中旬頃に通知書を発送します。その際、第1次合格者には、第2次選抜のスケジュール等も送付します。

## 【エントリーシート】

(実寸はA3サイズ。  
右図は平成30年度版)



## エントリーシートの記入項目

- I 志望動機
- II 積極的に取組んだ事
- III 語学力(資格・検定)
- IV その他の資格・検定

※ III・IVは裏づけとなる  
証明書のコピー(A4サイズ)を  
必ず同封すること。

## (2) 第2次選抜(平成31年3月30日(土)予定)

第1次選抜合格者に小論文試験・面接試験・英語ライティング試験(与えられたトピックについて30分以内に約300語の英文にまとめる)を行います。またこれらの結果と4月入学直後、全新生入生に対して実施するプレースメントテスト(基礎学力判定テスト[数学・国語])・TOEIC-IPテストの結果を加味した上で、総合評価により選抜し、受講生を決定します。

## 選抜の流れ

| 入試の種類                               | PASCAL入試  | 公募推薦入試<br>指定校推薦入試 | 創価学園推薦入試         | センター試験利用入試<br>(前期3科目方式、4科目方式) | 全学統一入試<br>(2科目方式、3科目方式) | 一般入試 | 合格者数 |
|-------------------------------------|---|-------------------|------------------|-------------------------------|-------------------------|------|------|
| 第1次選抜<br>エントリーシート提出締切日<br>(締切日消印有効) | 平成30年<br>12月14日(金)                                      |                   | 平成31年<br>2月8日(金) |                               | 平成31年<br>3月1日(金)        |      | 約70名 |
| 第1次選抜合格発表                           | 平成31年3月中旬頃、合格通知書を発送                                     |                   |                  |                               |                         |      |      |
| 第2次選抜                               | 予定:平成31年3月30日(土) 小論文試験 面接試験 英語ライティング試験                  |                   |                  |                               |                         |      | 約30名 |
| 第2次選抜合格発表                           | 4月入学直後 筆記試験(プレースメントテスト TOEIC-IPテスト)<br>4月上旬 本学掲示板にて合格発表 |                   |                  |                               |                         |      |      |

- 創価大学入試合格者(対象は下記7つの入試)に、エントリーシートを送付します。  
(送付時期)PASCAL入試:10月下旬 公募推薦入試・指定校推薦入試:12月初旬 創価学園推薦入試:1月下旬 センター試験利用入試[前期3科目方式、4科目方式]、全学統一入試[2科目方式、3科目方式]:2月中旬 一般入試:2月下旬)
- GCP受講希望者はエントリーシートを提出し、入試得点やエントリーシートの内容等による総合評価で第1次選抜を行います。第1次選抜合

- 格者は、平成31年3月30日(土)に実施予定の第2次選抜に進みます。
- 第2次選抜では、小論文試験・面接試験・英語ライティング試験を行います。これらの結果と4月入学直後の全新生入生に対して実施するプレースメントテスト・TOEIC-IPテストの結果を踏まえ、総合評価の上、GCPの合格者を決定(定員約30名)します。
- 合格発表は4月上旬に本学掲示板にて行い、通常の履修登録(時間割登録)に間に合うよう期間設定しています。
- 過年度の選抜結果はホームページをご覧ください。

※変更の可能性がありますので最新の情報はホームページをご確認ください。

## 8期生からのメッセージ

理工学部共生創造理工学科2年

樹山 さくら | 大阪府 私立・関西創価高等学校



GCPでは、異なる視点を持つ仲間と意見を交わし視野を広げる機会が多いです。日々の授業ではアカデミックな英語と論理的思考・数理運用能力を鍛えることを目標として進められています。英語の授業ではエッセイ・プレゼンテーションなどの技能だけでなく、ニュースや海外情勢を学ぶことで多面的に成長できます。またグルー

プワークを通して、思考力と仲間とともにプロジェクトを効果的に進めていく力を伸ばすことができます。自らの未熟さに直面するときでも、仲間、先輩方、教員の方々が応援して下さり乗り越えてきました。自身の限界に挑戦するGCPでともに学び成長していきましょう!



**GCPディレクター** 西浦 昭雄  
 教務部長・経済学部教授。創価大学経済学部卒業、博士(経済学)。GCPではプログラムゼミⅣ、チュートリアルを担当。専門はアフリカ経済論・開発経済学。経済学部の担当ゼミは、2014年に経済産業省「社会人基礎力を育成する授業30選」に選定される。

GCPという学部横断型のプログラムは、創価大学がめざす世界市民教育のさきがけとして2010年4月に開設されました。そこには世界各地で活躍する多くの方の経験と想いが凝縮されています。GCPには教育への情熱と高い実力を兼ね備えた20名を超える教職員が各学部からたずさわり、高い志をもった学生との触発のなかで、世界に多くの有為な人材を輩出し始めています。創造的な世界市民を本気でめざそうとする学生にピッタリのプログラムです。



**GCPコーディネーター** 佐々木 諭  
 看護学部教授。創価大学法学部卒業、新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了、博士(医学)。GCPでは、プログラムゼミⅠ、Ⅱ、チュートリアルを担当。専門は国際保健学、公衆衛生学。10年間にわたり国際協力機構(JICA)専門家等としてアフリカの国際協力事業に従事。

GCPは、世界市民を目指す高い志と情熱を持った学生のためのプログラムです。GCPの学びを通して、高い英語コミュニケーション力、論理的思考力、問題解決力など世界に通用する力を習得することができます。また、日々の学びの挑戦は、目標を勝ち取る力、壁を乗り越える力、自分を信じる力、人に尽くしていく力を養ってくれます。共に励ましあい、支えあい、競い合いながら、多くのGCP生が目標を勝ち取り、社会に出てもお夢に向かって挑戦を続けています。



**篠宮 紀彦**  
 理工学部教授・情報ネットワークセンター長。創価大学工学部卒業、博士(工学)。GCPでは社会システムソリューションⅡ、チュートリアルを担当。専門は情報通信ネットワーク設計理論。(株)富士通研究所にて、北米のインターネットバックボーンの研究開発に従事。

我々の生活を支える様々なシステムは日々複雑さを増しています。また、全てのシステム内では膨大な量の情報が常に行き交っています。GCPでは、システム分析、統計データ処理や数理科学的な手法を学び、困難な問題に対する観察力と解決法を考える力を養います。この能力は各学部の専門性をこえて普遍的に必要なとされます。広い視野で社会を俯瞰し、将来、国際社会を舞台に活躍できるリーダーを育成しています。



**山崎 めぐみ**  
 学士課程教育機構准教授。アメリカ合衆国ミネソタ大学卒業、Ph.D. (Educational Policy and Administration)。アメリカの大学で16年間、アカデミック・アドバイザー、教員として従事。GCPではプログラムゼミⅣを担当。

GCPのカリキュラム・仲間や先輩との関係性を通して、多様な考え方を学ぶと同時に、自分の考えを伝える経験を1年生から積むことができます。この力は、どのような環境においても他者と関わるために必要なものです。また、新しい環境・状況で問題を発見したり、課題を解決するために必要な論理的思考力や創造力を身につける機会に恵まれます。日本のみならず、海外で活動したい人は、是非挑戦してみてください。



**勘坂 泉**  
 ワールドランゲージセンター講師。創価大学卒。英文学修士、教育学修士(M.Ed. in Curriculum, Instruction, and Technology in Education)。イギリスで難民の英語習得支援、カンボジアで英語教育支援などに従事。GCPでは英語基礎科目Academic Foundations for Global Citizenship I-IIを担当。

GCPでは、単に英語スコアを伸ばすだけでなく、将来グローバルに活躍するために必要な、高度な英語運用能力を身につけるため、2年間の集中プログラムで、基礎を徹底的に鍛え、学術的なリサーチ、問題解決、ビジネスで活かせるコミュニケーション、プレゼンテーションなどを総合的に学びます。交換留学先や海外大学院ですぐに現地学生と一緒に専門科目を学ぶことができる英語レベルに達することを目指し、授業はすべて英語で行われます。



**John Bankier**  
 ワールドランゲージセンター講師。テンブル大学大学院修了。M.Ed. in TESOL。ニュージーランドと日本でこれまで14年間英語教育に従事し、創価大学では主に経済学部IPとGCPの英語を担当。GCPではEAP for Global Citizenship III/IVを担当。

The Global Citizenship Program is a fantastic opportunity for students in Japan, so students must make the most of this chance. Global Citizenship means considering yourself a citizen of the world, not just Japan, and of thinking of issues and problems as global rather than only local. On the program, students can learn about how global issues are relevant at a local level. By making a strong effort in essays, presentations and preparation for class discussions, students can get a better understand of how apparently local issues can be solved by comparing them to other contexts, and understanding how issues are interrelated. Writing and speaking about issues enables students to understand them deeply and improve their ability to communicate to others. As such, the GCP can help individuals develop as global citizens who can make a real impact on issues both in Japan and overseas.



## 外資系証券会社勤務（アメリカ・デラウェア大学留学）



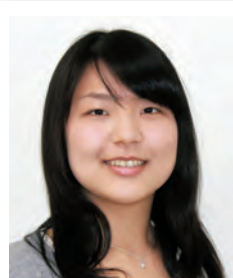
岩城 貴子

GCP2期生  
平成27年度経済学部卒業

香港、インド、ロンドン、ニューヨークなど、日々世界各地の支店と英語でコミュニケーションを取りながら、海外の投資家に対して幅広い金融サービスの提供を行っています。また若手社員であっても、自ら考え海外の上司に提案を行うことや、多様なバックグラウンドを持った人々を巻き込みながら主体的に仕事を進めていくことが多く、高いレベルでのコミュニケーション能力、リーダーシップ、論理的に考える力が求められます。単なる語学としての英語力ではなく、相手に伝わるコミュニケーション力や徹して考え抜く力など、まさにGCPで培った力が活きていると日々実感しています。

私は、世界で最も苦しんでいる人々に貢献できる力をつけたい、との思いからGCPに入ることを決めました。この決断は間違っていなかったと確信しています。GCPでの経験は、卒業後も初心を忘れず挑戦し続ける原動力となっています。「社会に貢献したい・世界で活躍したい」という自らが描いた理想や熱い想いを実現できる場がGCPです。真の地球市民を目指して、志ある受験生の皆さんがGCPに挑戦してくださいを心待ちにしています。

## 司法修習生（平成29年司法試験合格）



黒川 真希

GCP2期生  
平成26年度法学部卒業

私は、平成29年司法試験に合格し、現在は司法修習生として弁護士等の実務の修習をしています。大学卒業後は創価大学法科大学院の既修者コースに入学し、大学院卒業後、1回目の司法試験の受験で合格することができました。GCPで英語力を鍛えながら、司法試験合格に必要な法律の知識も身に付けることは、多くの苦労もありましたが、GCPの先生方などのサポートのおかげで最高に充実した学びの日々を過ごせたことは人生の財産となっています。

GCPでは英語のエッセイやリサーチペーパー、日本語でのレポート課題等、アカデミックな文章を書き、教授や他のGCP生からフィードバックを受ける機会が多くあります。そのおかげで、論理的かつ読み手に分かりやすい文章を書く力を養うことができ、司法試験受験においても、非常に役立ちました。

また、GCPにおいて、他学部のGCP生との活発な議論や、社会が抱える様々な分野の課題について問題設定から解決策を考えることを通じて、自分の専門分野を超えた広い視野に立つて物事を考える視点を持つことができました。

今後は、弁護士として実務経験を重ねながら、海外のロースクールに留学したいと考えています。GCPは、自分の想像以上に、自分の可能性を広げていくことができる場所です。皆さんが、GCPで自分の夢に向かって学びと成長の日々を過ごされることを期待しています！

## Q & A

### 国公立大学と悩んでいます…

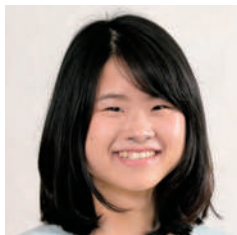


高橋 知里

経済学部経済学科2年  
愛知県 市立・菊里高等学校

私も当初は国公立大学への進学を考えていましたが、専門分野と英語の両方を学びたいと思いGCPに入ることを目指しました。GCPでは教授との一対一の関係を通して弱点を明確にし、英語力を徹底的に磨くことができます。また論理的思考力や数理能力も養い、総合的な実力を高める環境が整っています。さらに1年次の海外研修では学んだことを実践的に活かすことで、知識を経験に変えることができました。国公立大学にも合格しましたが、ちっぽけな高校生だった私が世界の諸課題に関心を持ち、勉学という鍛錬を通して自身の可能性を広げられたのは、この一年間の学びがあったからです。努力の先に全く新しい自分を発見できるのが、GCPの醍醐味だと思います。

### クラブとの両立に関して



伊藤 憲子

法学部法律学科卒業  
新潟県 県立・新潟高等学校

GCPの授業は基本的に放課後に実施され、また日々膨大な量の課題をこなす必要があります。1、2年次は勉強に集中するためにクラブへの参加は認められません。しかし3年次からは、各自の興味関心に沿って時間を自由に使い、様々なことに挑戦できます。私は、国際協力のキャリアへの関心と、途上国の栄養状況への問題意識から、アフリカ・ザンビアでの栄養教育プロジェクトを企画・実行しました。プロジェクトでは、大学で栄養教育の教材を作成した後、それらを持ってザンビアへ渡航し実際の栄養教育に携わることができました。大学生でこのような貴重な経験ができたのは、GCP2年間で様々なスキルを身につけられたからだと感じています。

GCPの詳細については  
こちらから



<http://www.soka.ac.jp/gcp/>

# 学部の専門性と語学を伸ばす GCPだからできる学び



**嶺岡 秀美**

ビジネスで世界の平和に貢献する

経営学部経営学科3年

東京都 私立・創価高等学校

私は、世界平和の実現に貢献するため、GCPを志願しました。自身の夢を叶えるべく、GCPでの学びに打ち込んだ結果、念願のアメリカへ留学することが決まりました。将来、自身の専門分野であるビジネスで、紛争や差別により人権が奪われている人々を笑顔に、また幸福にしていけるよう価値創造していきます。



**青山 裕二**

発展途上国の貧困削減を目指す

経済学部経済学科2年

大阪府 私立・関西創価高等学校

私の将来の目標は、経済学者として世界銀行に入り、発展途上国の貧困の削減に貢献し、持続可能な開発を促進していくことです。今は、より高度な専門性を身につけるために、海外大学院進学を決意し、専門である経済学の勉強とGCPの課題に精一杯取り組んでいます。



**鉢呂 恵理香**

多様性を尊重する豊かな世界に

文学部人間学科3年

埼玉県 県立・浦和第一女子高等学校

高校生活以上に大学で思い切り学びぬきたいと思い、GCPを志願しました。GCPでは、志高く尊敬できる仲間と切磋琢磨し、高め合うことが出来ます。GCPで得た学びと多様な視点や価値観を活かして多くの人々の生活に楽しみや彩りを与えていける人材になりたいと思い、ジャーナリズムの分野を目指しています。



**田中 健児**

途上国の発展に貢献する研究者に

理工学部共生創造理工学科4年

東京都 私立・創価高等学校

GCPでは、論理的思考力、問題解決力を高めながら、貧困問題、環境問題等の地球的課題を、他学部の学生との議論を通して多角的に分析し、解決に向け考察する力が養えます。将来、私は植物プランクトン工学の研究者となり、途上国経済の活性化に少しでも貢献するような発明を目指していきます。



**越智 理佐子**

教育のための社会を目指して

教育学部教育学科卒業

大阪府 私立・関西創価高等学校

GCPでは、学部にも所属したまま学際的な知識と技術を学べるため、自身の専門を軸に様々な分野に挑戦する訓練が積めます。GCPの学びをいかして、2018年9月よりイギリスの大学院に進学し教育開発学を学びます。教育こそ人々の可能性を開く鍵であるとの確信を胸に、人々の幸福に貢献していきます。



**花田 広樹**

世界平和に貢献できる国際弁護士に

法学部法律学科2年

千葉県 県立・船橋高等学校

優秀な同期と先輩方に囲まれながら、日々、勉学に励んでいます。GCPのおかげで、入学した当初には想像できない程の英語力、人格を身につけることができました。今後は、学生時代にしかできない経験を積み重ね、世界で通用する「英語力」、「専門性」、「人格」を兼ね備えた国際弁護士になります。

発行日：平成30年（2018年）5月1日

グローバル・シティズンシップ・プログラム事務室（総合学習支援オフィス学習支援課内）

ホームページ：<http://sgcp.soka.ac.jp> TEL:042-691-7009 FAX:042-691-6941

メールアドレス：[sgcp@soka.ac.jp](mailto:sgcp@soka.ac.jp)

お問い合わせ時間：月～金曜日 9:00～17:00 / 土曜日 9:00～12:00